

# バニラ苗木の育生方法

先日はお買い上げありがとうございます。

随分とお部屋に馴染んできた時期ではないでしょうか？

ここでは少し場所をお借りし、バニラ苗木の育成方法をレクチャー致します。

## ■植物としてのバニラ

☆ 着生植物である(自然界で野生化しているものは、樹木に絡みついて光を得る)

☆ ランの仲間で、花を1年に1度、1日だけもつ。

## ■育て方

### ☆環境について

#### 【春～初秋】

窓のそば明るい部屋の中で育てます。あまりに強い日差しにさらされると葉焼けをおこします。

#### 【晩秋～小春】

窓の側明るい場所に起きたいところなのですが、日本の低温(5℃以下)に耐え得ることができません。窓からの冷氣や温度管理に気をつけます。

### ☆水やりについて

#### 【春～初秋】

土壌が乾かないように水をあげます。

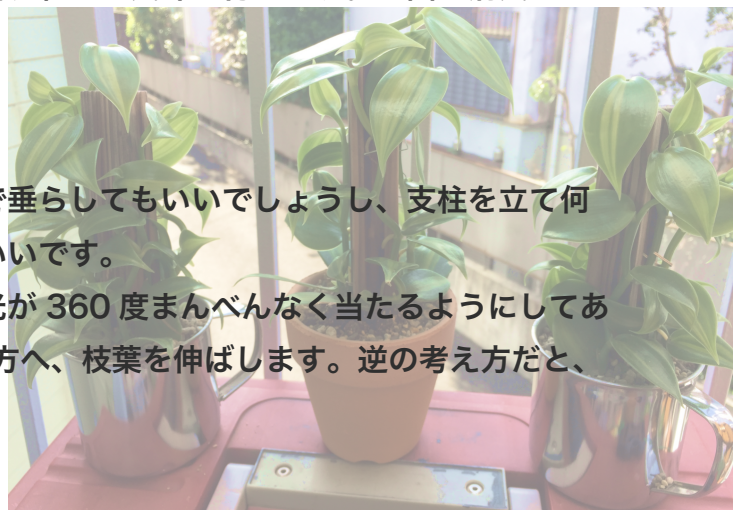
#### 【晩秋～小春】

温度が低い季節・環境下で育てる場合、乾かし気味で育てます。理由は病気になりやすくなるためです。

### ☆その他、肥料などについて

枝葉を伸ばしてきたら、ハンギングで垂らしてもいいでしょうし、支柱を立て何かにつかませながら、光を与えてもいいです。

たまに鉢植えの向き自体を変えて、光が360度まんべんなく当たるようにしてあげましょう(植物は基本的に光のさす方へ、枝葉を伸ばします。逆の考え方だと、



バナラの枝葉を鉢植えの角度から好きな方向へ伸ばせる、ということでもありません)。

肥料は年に1度あげれば、十二分です。

#### ■増やし方・病気・植え替え

☆ 4～7月に「挿し木」で数を増やせます。

挿し木とは2節以上の長さで切り取った枝を水苔へ挿して(挿し木をして)おくと、根を出して新しい株として育ちます。

また、

新鮮な水に切った枝葉を浸しておいても、勝手に根を出してくれます。

水生栽培のようなもので根が出たのを確認したあと、土や水苔に植えつけます。

そのままの状態いわゆる水生栽培でも数年以上楽しめますが、花等の結花・結実には結び付きづらと考えられます。

根を出させるコツは、水の入れ替えを2～3日に1度必ず行い切り口は綺麗に切ります。

☆ 低温で過湿(水のやり過ぎ)にすると、葉に斑点性の病気が出ます。15度以下になるときは、乾燥気味に管理し10～4月頃まで室内に取り込んで低温障害にならないよう「低温は乾燥」「高温は多湿」を保つようにします。

☆ バナラの植え替えは4～7月が適期です。着生ランの仲間なので水苔を土壌にしても育ち、約2年に1回くらいのペースで1回り大きな鉢に植え替えます。水苔の場合には湿り気に気を回します。

植物を育てる基本、と言っはなんですが「基本彼らを放っておくが、毎日目は合わせてあげる」位の少々Sな心持ちで、楽しみながら育ててあげましょう。

「植物を育てること」は「手」がかかりますが、自分を大きく成長させてくれます。

東光園緑化(株) グリーンテクニカルプランナー 松尾 正人